

2017県民アンケート調査

～県民生活や県の取組みに関する意識調査～

～ 県民アンケート調査へのご協力をお願い ～

県民の皆様には、日頃から、県政の推進にご理解、ご協力をいただき心からお礼を申し上げます。

熊本県では、県政に県民の皆様のご意見を反映させていただくため、毎年、県民アンケート調査を実施しています。

この調査は、日常生活や社会・生活環境、県の取組み等について、日頃、皆様を感じていることや、行っていることをお尋ねし、県の施策に活かしていくものです。

調査対象者の選定にあたりましては、県内にお住まいの20歳以上の方々の中から、1,500名を各市町村の住民基本台帳より無作為に選ばせていただきました。

よりよい熊本づくりに向け、皆様の率直なご意見をよろしくお願いいたします。



平成29年6月

熊本県知事 蒲島 郁夫

調査票へのご記入にあたって

- アンケートへの回答は、封筒のあて名の方**ご本人**が記入いただくようお願いいたします。
(ご本人でのご記入が困難な場合は、代筆でもかまいません。)
- 回答は、**黒の鉛筆又はボールペン**などで、**この調査票に直接記入**してください。
- 内容がわからない質問や、回答したくない質問には、**回答されなくてもかまいません。**
(回答していないところがあっても、そのまま返送してください。)
- 記入が終わったら、調査票を二つ折りにして、**同封の返信用封筒に入れ**、切手を貼らずに **平成29年6月30日(金)までに** 郵便ポストに投函してください。
- 回答いただいた内容は、無記名のまま集計、分析するため、回答者個人が特定されることはありません。

■ お問い合わせ先

熊本県企画振興部企画課 政策班 担当：前広、藤本

電話 096-333-2018 (直通)

ファックス 096-382-4066

電子メール kikaku@pref.kumamoto.lg.jp

防災・治安について

問1 あなたは、お住まいの地域の中で、市町村が定めている災害時の避難場所がどこにあるか知っていますか。 (1つだけ○)

1. 知っている
2. 知らない

問2 あなたは、ご自身やご家族を災害から守るために、何をしていますか。
(あてはまるもの全てに○ ※14以外は複数選択可)

1. 住宅の耐震化
2. 家具等の固定
3. 水・食料等の備蓄
4. 非常用持出品の準備
5. 風呂に水をためる
6. 地域の危険箇所やハザードマップの確認
7. 指定避難場所、経路の確認
8. 家族との連絡方法の確認
9. 自主防災組織などが行う訓練への参加
10. 県・市町村等のホームページ等での気象情報などの収集
11. 自治体の防災メールの登録
12. 早めの自主避難（予防的避難）
13. その他（)
14. 何もしていない

問3 あなたは、これまで自治会の中の防災活動など、自主防災組織が行う防災訓練などに参加したことがありますか。 (1つだけ○)

1. 自主防災組織の活動に参加したことがある
2. 自主防災組織はあるが、活動には参加したことはない
3. 自主防災組織がない
4. 自主防災組織があるのか知らない

問4 あなたが今後取得したい防災に関する知識は何ですか。
(あてはまるもの全てに○ ※12以外は複数選択可)

1. 避難所や避難経路について
2. 個人でできる災害に対する備え（自助）
3. 近隣の安否確認や、避難誘導など地域でできる取組み（共助）
4. 災害時の情報収集方法
5. 災害時の注意点
6. 避難生活で気を付けること
7. 生活再建等に向けた支援制度
8. 災害ボランティアの支援要請や参加方法
9. ハザードマップ（災害等発生時の危険箇所）の情報
10. 地震に関する情報（断層の場所や発生確率等）
11. その他（)
12. 特にない

問5 災害時に、警察に特に力を入れてほしいと思う警察活動はどのような活動ですか
(3つ以内で○)

1. 人命の救出・救助活動
2. 被災地を中心としたパトロール活動等の強化
3. 災害に便乗した犯罪の取締り
4. 被災地等における交通の安全と円滑の確保
5. 避難所・仮設住宅等への訪問活動
6. 安全・安心に寄与する各種情報の積極的な発信
7. その他（)

※この問いは、ご自宅が自己・家族所有の方のみにお尋ねします。

問6 あなたは、ご自宅の耐震化を行っていますか。(1つだけ○)

1. 耐震診断を行って、結果を受けて考える
2. 耐震診断を行って、必要ならば、耐震化工事を行いたい
3. 耐震化工事を行っている(行う予定)
4. 耐震化工事を実施済み

} 問8にお進
みください

5. 耐震診断を行うが、耐震化工事を実施する予定はない
6. 耐震診断、耐震化工事もに行う予定はない

} 問7にお進
みください

※この問いは、問6で、選択肢5・6のいずれかを選択された方のみにお尋ねします。

問7 ご自宅の耐震化工事を行わない理由を教えてください。
(あてはまるもの全てに○)

1. 耐震化のために何から始めたらよいか分からないため
2. どのような業者に耐震診断、耐震化工事を頼んでよいか分からないため
3. 建替え予定のため
4. 耐震化工事を行う費用がないため
5. 耐震性能が十分であり、耐震化は不要であるため
6. その他 ()

救急医療について

※すべての方にお尋ねします。

問8 あなたは、お住まいの地域における救急医療体制についてどのように思いますか
(1つだけ○)

1. 整っていると思う
2. どちらかといえば、整っていると思う
3. どちらかといえば、整っていないと思う
4. 整っていないと思う
5. わからない

高齢者の福祉・介護について

問9 あなたは、いつまでも生きがいを持ち、住み慣れた地域で安心して生活できる社会を実現するために、何が足りないと思いますか。（2つ以内で○）

1. 高齢者の就労支援
2. 健康づくりや介護予防
3. 見守りや家事などの日常的な生活支援
4. 認知症になっても安心して暮らせるための施策
5. 高齢者の権利擁護（成年後見制度の利用促進、虐待防止等）
6. 在宅で医療や介護サービスを受けるための体制づくり
7. 介護保険施設等の整備
8. 高齢者向け住まいの供給促進
9. 介護に従事する人の確保や介護サービスの質の確保・向上
10. その他（）

地域福祉について

問10 あなたの住んでいる地域で、生活の中でちょっとした困りごとに対応するサービスや支え合い活動として、利用できればよいと思うものは次のうち何ですか。（2つ以内で○）

1. 買い物支援（移動販売・買い物代行など）
2. 移動支援（乗り合いタクシー・福祉タクシーなど）
3. 家事援助（食事の支度、清掃、庭の草取りなど）
4. 生活支援（電球交換、家電据え付けなど）
5. 子育て支援（一時預かり、妊娠中や出産後の家事援助など）
6. 相談・話し相手
7. その他（）

やさしいまちづくりについて

問 1 1 あなたは、ここ数年間で、障がい者用駐車場などの設備の利用に関する一般的マナー※が良くなってきたと思いますか。（1つだけ○）

※ 障がい者用駐車場の利用のほかに、点字ブロックの上に物を置かない、スロープの前を物でふさがないなど、障がい者の方が利用するために配慮された設備の利用マナーを含みます。

1. そう思う
2. どちらかといえば、そう思う
3. どちらかといえば、そう思わない
4. そう思わない
5. わからない

問 1 2 あなたは、過去1年間に、ボランティア活動（職業として行うものは除く）に参加したことがありますか。また、それは次のどの分野ですか。

（あてはまるもの全てに○ ※8以外は複数選択可）

1. 地域安全・災害救援分野
2. 保健・医療・福祉分野
3. 子どもの健全育成、教育分野
4. 環境保全分野
5. 文化・スポーツ・芸術分野
6. 地域づくり分野
7. その他（）
8. 参加していない

障がい者施策について

問 1 3 熊本県では、「障害のある人もない人も共に生きる熊本づくり条例」により、障がいの有無にかかわらず、安心して暮らすことができる共生社会の実現を目指しています。あなたは、この条例を知っていますか。（1つだけ○）

1. よく知っている
2. 名前だけは知っている、もしくは聞いたことがある
3. 全く知らない

結婚・少子化について

問 1 4 現在、我が国では少子化が進んでいますが、その原因の一つとして、結婚していない人の割合が増加していることが指摘されています。

あなたは、結婚を希望している人が結婚できるように、職場や地域、行政などみんなで応援している社会環境にあると感じますか。 (1つだけ○)

1. そう思う
2. どちらかといえば、そう思う
3. どちらかといえば、そう思わない
4. そう思わない
5. わからない

妊娠・出産について

問 1 5 あなたは、県民が安心して妊娠・出産ができる環境にあると感じますか。
(1つだけ○)

1. そう思う
2. どちらかといえば、そう思う
3. どちらかといえば、そう思わない
4. そう思わない
5. わからない

子育て・家庭教育について

問 1 6 「くまもと家庭教育支援条例」に基づき、「親の学び」講座の開催や、くまもと家庭教育10か条の周知に取り組んでいます。あなたは、この条例を知っていますか。
(1つだけ○)

1. よく知っている
2. 名前は知っている、もしくは聞いたことがある
3. 全く知らない

問17 あなたは、お住まいの地域の子どもたち（高校生以下とします）が心豊かに育っていると思いますか。（1つだけ○）

1. そう思う
2. どちらかといえば、そう思う
3. どちらかといえば、そう思わない
4. そう思わない
5. わからない

※この問いは、現在、中学生以下のお子様がいらっしゃる方のみにお尋ねします。

問18 あなたは、子育てが楽しいと感じることが多いですか、辛いと感じることが多いですか。（1つだけ○）

1. 楽しいと感じることが多い
2. どちらかといえば、楽しいと感じることが多い
3. 楽しいと感じることと、辛いと感じることが同じくらいある
4. 辛いと感じることが多い
5. わからない

健康について

問19 あなたは、日頃、健康の維持・増進のために、何をしていますか。
(あてはまるもの全てに○ ※11以外は複数選択可)

1. 定期的に（最低年1回）健康診断を受けている（2の歯科検診を除く）
2. 定期的に（最低年1回）歯科検診を受けている
3. 歯間ブラシやデンタルフロス（糸ようじ）を使用して、歯をみがいている
4. 主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを考えて食べている
5. 睡眠や休養を十分とるようにしている
6. アルコールは、飲みすぎないように適量を心がけている
7. たばこを吸わない、または控えている
8. ウォーキングなどの運動をしている
9. 自分の適正な体重を知り、その体重を維持したり、近づけるよう心がけている
10. その他（）
11. 何もしていない

問20 あなたは、食育の考え方や内容を理解し、日常生活の中に活かしていますか。
(1つだけ○)

1. 内容を理解し、十分活かしている
2. 内容を理解し、ある程度活かしている
3. 内容は理解しているが、あまり活かしていない
4. 内容は理解しているが、ほとんど活かしていない
5. 言葉は聞いたことはあるが、内容は知らない
6. 全く知らない

人権・男女共同参画について

問21 あなたは、ハンセン病が感染しにくい病気だということを知っていますか。
(1つだけ○)

1. 知っている
2. 知らない

問22 あなたは、ご自身のお気持ちの中に、ハンセン病の患者さんや治癒された方に対する偏見や差別意識があると感じますか。(1つだけ○)

1. ある
2. 少しある
3. ない
4. わからない

問23 あなたは、「男は仕事、女は家庭」などと、性別によって職場や家庭、地域での役割を固定しようとする考え方についてどう思いますか。(1つだけ○)

1. 同感する
2. どちらかといえば、同感する
3. どちらかといえば、同感しない
4. 同感しない
5. わからない

問24 熊本県では、人権が尊重される社会の実現のため、「熊本県人権教育・啓発基本計画」において、同和問題をはじめとする様々な人権問題の解決を、県として取り組むべき重要課題と位置づけています。

あなたは、次のうち、どの人権問題に関心がありますか。

(あてはまるもの全てに○ ※19以外は複数選択可)

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 1. 女性の人権 | 11. 拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害 |
| 2. 子どもの人権 | 12. インターネットによる人権侵害 |
| 3. 高齢者の人権 | 13. アイヌの人々の人権 |
| 4. 障がい者の人権 | 14. ホームレスの人権 |
| 5. 同和問題 | 15. 性同一性障がい・性的指向をめぐる人権 |
| 6. 外国人の人権 | 16. 刑を終えて出所した人等の人権 |
| 7. 水俣病をめぐる人権 | 17. 災害時における被災者の人権 |
| 8. ハンセン病回復者等の人権 | 18. その他 () |
| 9. 感染症・難病等をめぐる人権 | 19. 特にない |
| 10. 犯罪被害者等の人権 | |

地下水について

問25 あなたは、化学肥料を減らした土づくりや水田の働きなど農業によって、地下水が守られていることを知っていますか。 (1つだけ○)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問26 あなたは、日頃から地下水を守るために、何をしていますか。

(あてはまるもの全てに○ ※6以外は複数選択可)

1. 家庭での節水を心がけている
2. 雨水浸透ますを設置したり、庭を緑地化するなど、雨水が地下にしみ込みやすくしている
3. 地下水を育む農畜産物（グリーン農業マークの付いた農産物やえこめ牛など）を購入している
4. 台所の油汚れを古い布で拭き取るなど、汚水を流さないように努めている
5. その他 ()
6. 何もしていない

食の安全安心・農林水産物等について

問27 あなたは、現在、販売されている農林水産物（生鮮食品）や加工食品に不安を感じますか。（1つだけ○）

1. 全く不安はない
2. あまり不安はない
3. ある程度不安がある
4. とても不安がある
5. わからない

問28 あなたは魚介類を購入する際、安全性のために何を重要視しますか。
(あてはまるもの全てに○ ※7以外は複数選択可)

1. 国内産であること
2. 県内産であること
3. 安全と思う原産国であること
4. 天然の魚介類であること
5. 安全の証（認証シールなど）で安全性が確認できるもの
6. その他（）
7. 特になし

問29 あなたは、地域で生産されたものを地域で消費する「地産地消」^{ちさんちしょう}に関心がありますか。また、県内でできた農林水産物（または加工品）を購入（またはレストランなどで注文）していますか。（1つだけ○）

1. 地産地消に関心があり、なるべく県産農林水産物を購入している
2. 地産地消に関心はあるが、県産農林水産物にはこだわらない
3. 特に関心がない

環境について

問30 国連で一人あたりの食料廃棄物を半減させるという目標が設定されたなか、日本では食品ロス（まだ食べられるのに捨てられている食品）が年間推計 621 万トン（事業系 339 万トン、家庭系 282 万トン）発生しています。

あなたがより効果的と考える対策はどれですか。（あてはまるもの全てに○）

（企業における取組み）

1. 賞味期限間近など販売できない食品をフードバンク*へ提供
2. 消費期限及び賞味期限が間近な食品の値下げ販売
3. 食品廃棄物のリサイクル（堆肥化、飼料化など）
4. 正確に需要量を予測する取組み
5. 小盛り、おかわり自由など提供量の調整
6. その他（ ）

（家庭における取組み）

1. 「買い物前の冷蔵庫確認」など買いすぎを控える
2. 余っている食品をフードバンクなどに寄付する
3. 生ごみを水切りや生ごみ処理機で減量する
4. 保育所、小学校、中学校での環境教育
5. その他（ ）

※フードバンクとは、食べられる様々な食品を企業などから集め、地域の福祉団体や個人に届ける活動を行う組織のこと。

問31 循環型社会を形成していくために、あなたは、特に意識して取り組んでいるものがありますか。（あてはまるもの全てに○）

1. 職場や学校でのマイボトル・マイカップの利用
2. マイバッグを利用することでレジ袋の減量化
3. 詰替え用製品や再利用できる瓶が使用された製品の購入
4. フリーマーケットやリサイクルショップの活用
5. リサイクルを意識した家庭でのごみの分別の徹底
6. 廃小型家電や廃携帯電話などからの金・銀・銅などの金属資源のリサイクル
7. その他（ ）

住宅施策について

問34 あなたは、県民が誇りを持ち安心して暮らし続ける地域（居住環境）の実現のために、何が大切だと思いますか。（2つ以内で○）

1. 若者世帯・子育て世帯が安心して暮らせること
2. 高齢者が自立して暮らせること
3. 住宅を自力で確保することが難しい、低所得者などの世帯が安心して暮らせること
4. 既存住宅の耐震性・省エネ性等の向上など、安全で質の高い住宅となるよう、リフォームや建替えが促進されること
5. 適切な維持管理やリフォームなどにより、良質で魅力的な既存住宅が市場で評価され、流通すること
6. 空き家の利活用や、解体・撤去が進むことで、空き家の増加が抑制されること
7. 住宅産業の担い手が確保・育成されること
8. まちづくりと連携した利便性の向上、防災・減災対策など、地域の魅力が向上すること
9. その他（ ）

国際スポーツ大会について

問35 2019年に女子ハンドボール世界選手権、ラグビーワールドカップ等の国際スポーツ大会が熊本で開催されます。

熊本地震からの復興の姿を発信するとともに、支援に対する感謝の気持ちを表すため、これらの大会に、あなたはどのような形で関わりたいと思いますか？

（あてはまるもの全てに○ ※7以外は複数回答可）

1. 大会ボランティアとして関わりたい
2. 世界中から訪れる選手と交流したい
3. 世界中から訪れる観客と交流したい
4. 試合を観戦に行きたい
5. その他、（ ）で関わりたい
6. 関わりたいが、具体的な関わり方がわからない
7. 特に関わりたいと思わない

自転車保険について

問36 あなたは、自転車保険（自転車事故により相手の生命又は身体に損害を与えた場合に補償できる賠償責任保険）に加入していますか。

【加入している方】…あてはまるもの全てに○

1. 自転車単体の賠償責任保険に加入している
2. 自動車保険、火災保険、傷害保険等の特約で加入している

【加入していない方】…あてはまる理由全てに○

1. 自転車保険を知らない（または加入方法が分からない）
2. 費用がかかる
3. 加害者になるとは思わない
4. 手続きが面倒
5. 自転車にほとんど乗らない
6. その他（ ）

県の広報媒体について

問37 県の施策・取組みについて、あなたは、どのような県の広報媒体から情報を入手していますか。（あてはまるもの全てに○ ※10以外は複数選択可）

- | | |
|-----------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 県広報誌「県からのたより」 | 6. 県のメールマガジン、
Twitter、Facebook など |
| 2. 県政広報テレビ「くまモンしあわせ彩熊記」 | 7. 市町村広報紙 |
| 3. 県政広報ラジオ
「ふれあいくまもと」「県庁ダイアリー」 | 8. チラシ・ポスター |
| 4. 県ホームページ | 9. その他（ ） |
| 5. 県からの新聞紙面広告（報道記事を除く） | 10. 特になし |

県政に対するご意見

県政全般について、ご意見、ご提案がありましたらご記入ください。

基本項目

あなたご自身のことについてお尋ねします。

1 あなたの住まいはどちらですか。あてはまる市町村の番号に○をつけてください。

熊本市	1. 熊本市中央区 2. 熊本市東区 3. 熊本市西区 4. 熊本市南区 5. 熊本市北区	菊池	16. 菊池市 17. 合志市 18. 大津町 19. 菊陽町	八代	32. 八代市 33. 氷川町
宇城	6. 宇土市 7. 宇城市 8. 美里町	阿蘇	20. 阿蘇市 21. 南小国町 22. 小国町 23. 産山村 24. 高森町 25. 南阿蘇村 26. 西原村	芦北	34. 水俣市 35. 芦北町 36. 津奈木町
玉名	9. 荒尾市 10. 玉名市 11. 玉東町 12. 和水町 13. 南関町 14. 長洲町			球磨	37. 人吉市 38. 錦町 39. あさぎり町 40. 多良木町 41. 湯前町 42. 水上村 43. 相良村 44. 五木村 45. 山江村 46. 球磨村
鹿本	15. 山鹿市	上益城	27. 御船町 28. 嘉島町 29. 益城町 30. 甲佐町 31. 山都町	天草	47. 天草市 48. 上天草市 49. 苓北町

2 あなたは、熊本県に通算何年くらいお住まいですか。次のうちあてはまるものに○をつけてください。

- | | | |
|-------------|--------------|------------|
| 1. 1年未満 | 4. 5年～10年未満 | 7. 20年～30年 |
| 2. 1年～ 3年未満 | 5. 10年～15年未満 | 8. 30年以上 |
| 3. 3年～ 5年未満 | 6. 15年～20年未満 | |

3 あなたの性別はどちらですか。

1. 男性 2. 女性

4 あなたの年齢は次のどれですか。

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 20～29歳 | 3. 40～49歳 | 5. 60～69歳 |
| 2. 30～39歳 | 4. 50～59歳 | 6. 70歳以上 |

ご協力ありがとうございました